

## 3月の絵本・おはなしだより

### 年長組

絵本

#### 「もりのひなまつり」

こいで やすこ 作／絵  
福音館書店



年に一度、お目見えする以外は奥の方にしっかりとしまわれているお雛様達。今年のはねずみたちに頼まれてなんと森へ出かけて動物達と一緒に楽しい一日を過ごすのです。

大きな空のもとを歩くお雛様達の姿が新鮮です。

帰ってきた頃には顔も服も汚れてしまい…

そこでねずみばあさんが活躍するのです。こんな話があってもおかしくないかも、とお雛様に親しみを感じさせてくれる楽しいお話です。



絵本

#### 「ぼくは一ねんせいだぞ！」

ふくだ いわお 作  
童心社

この春、一年生になるけんちゃん。やっと買ってもらったランドセルを背負って、公園へ出かけました。

けんちゃんは元気に歩きます。それから、犬のペロと散歩をしようとけんちゃんはランドセルを木の枝にかけていたら…

### 年中組

絵本

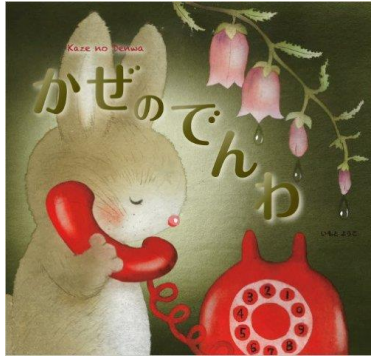
#### 「かぜのでんわ」

いもと ようこ 作／絵  
金の星社

山の上に置かれた電話。だれもが自由に使えて、今はそばにいない人と話すことができます。でも、それは電話線が繋がっていない電話でした。

大切な人と話をするために、今日も誰かがやってきました。

岩手県大槌町にある「風の電話」をもとに作られたお話です。



絵本

## 「ありがとう ともだち」

岡田 麟太郎 作  
降矢 なな 絵  
偕成社



ともだちのキツネが初めてのお泊りにやって来ました。

うれしくて、楽しくて、いいところを見せようと張り切って、つい大きなウソをついてしまったオオカミ。

「ウソだってホントにしちゃえばいいよな。がっかりさせたくないからな...。」と思っていたオオカミは、張り切りすぎて大失敗してしまいます。がっかりさせたはずなのに、ともだちのキツネは何と言ったのでしょうか。

## 年少組

絵本

## 「なぞなぞで おやしき たんけん」

石津 ちひろ 文  
こみね ゆら 絵  
アリス館

お屋敷にやってきたさやちゃんは、小鳥となぞなぞ遊びをすることに。

金魚やピアノなどがなぞなぞを出し、それに答えながらさやちゃんは次々といろいろな話を探検していきます。



絵本

## 「みんなのくまくまパン」

西村 敏雄 文  
あかね書房

くまさんとしろくまさんがパン屋をはじめました。ある日、お客さんに一番のおすすめのパンを聞かれたくまたちは、自分のパンこそ一番と譲らず、お店はお休みになってしまいました。そこへ、王様のかばがやってきて「まかせなさい」と言うのですが...